

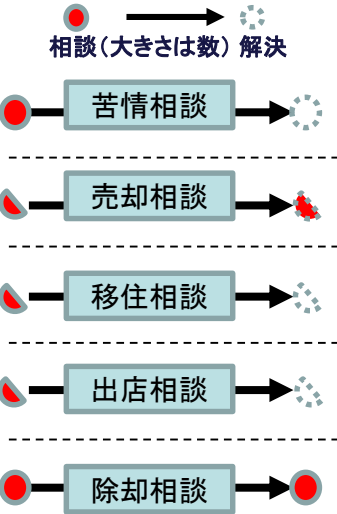
新潟県三条市を事業地域とし、空き家の情報収集・啓発・流通促進を目的として、空き家所有者、利活用希望者等を対象に、情報収集及び発信基盤の構築を行った。成果として、空き家相談件数昨年度比約400%、空き家バンク登録数については、昨年度比約300%を超える達成となった。

事業概要

事業部門	部門3 ポストコロナ時代を見据えて顕在化した新たなニーズに対応総合的・特徴取組行う事業
事業地域	新潟県三条市
背景・課題	ポストコロナ時代を見据え、複雑化する空き家問題を解決するためには、広く多様な主体への情報発信の強化と、事業横断的な連携により多様な解決方法に導くための基盤づくりが課題であった。
目的	外部人材及び空き家バンクをハブとして情報発信の強化及び組織横断的な情報収集並びに啓発を行い、空き家の顕在化及び利活用機会の創出を総合的に促進し、もって空き家の増加を抑制することを目指す。
連携する団体・役割	空き家対策の推進に関する連携協定団体(情報提供、専門家相談)、株式会社ジェクトワン(民間技術の指導)、株式会社MGNET(デザイン、啓発イベント)、三条市(苦情空き家、出店、移住等情報交換と横断的啓発事業)

取組内容と成果

取組前(対症療法的)



取組内容(総合的)



成果

相談件数
134件
R3年度30件

空き家バンク
新規登録件数
48件
R3年度16件

取組 空き家情報の提供支援、空き家相談ボックス及び啓発物の作成

①不動産会社の持つ空き家情報の提供支援(専門家団体との連携体制の構築)

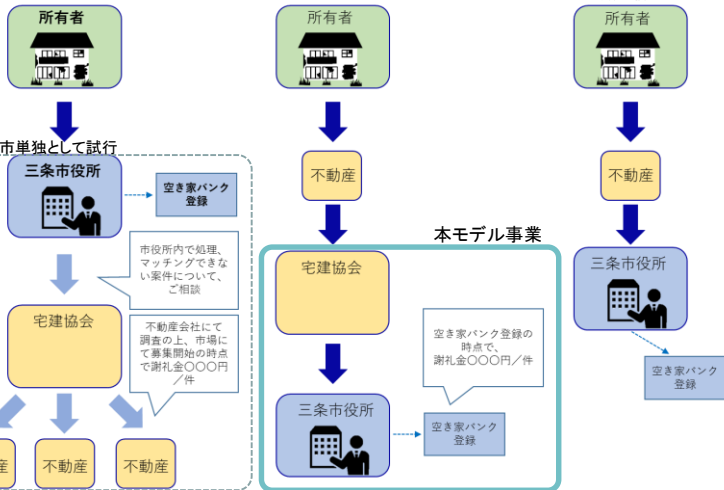
空き家対策～宅建協会様連携について～

①市役所⇒空き家バンク

②宅建協会⇒市役所

(例外) 不動産⇒市役所

※不動産会社直接持ち込み案件



②空き家相談ボックス及び啓発物の作成

三條市には、
空き家相談窓口
があるんです。

あなたと一緒に空き家の可能性について考えます。



空き家相談窓口について

空き家相談窓口とは、空き家に関する様々な相談、専門家の持つ空き家情報について、三條市の専門窓口です。

- | 空き家の
売却 | 空き家の
活用 | 空き家の
管理 | 空き家の
売却 | 空き家の
活用 | 空き家の
管理 |
|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| ・この物件、いくらで売りたいの？ | ・この物件、いくらで売りたいの？ | ・この物件、いくらで売りたいの？ | ・この物件、いくらで売りたいの？ | ・この物件、いくらで売りたいの？ | ・この物件、いくらで売りたいの？ |
| ・売却の準備ができていないの？ | ・売却の準備ができていないの？ | ・売却の準備ができていないの？ | ・売却の準備ができていないの？ | ・売却の準備ができていないの？ | ・売却の準備ができていないの？ |
| ・売却の準備ができていないの？ | ・売却の準備ができていないの？ | ・売却の準備ができていないの？ | ・売却の準備ができていないの？ | ・売却の準備ができていないの？ | ・売却の準備ができていないの？ |

こんな悩みをお持ちの方は、ぜひご相談をお待ちしております。お電話番号 0256-34-5435 まで!!

空き家・空き地バンクについて

空き家・空き地バンクとは、空き家、空き地の所有権者から、お申し込みをいただき、インターネット上に掲載し、物件の売買、賃貸、活用などに関する様々な相談を受けることができます。

空き家をお持ちの方は、ぜひご相談ください。お持ちの物件の活用を相談いたします。

三條市役所、または三條市内に物件を所有する方を対象に実施しています。

アンケート調査へのご協力

三條市役所、または三條市内に物件を所有する方を対象に実施しています。

アンケート調査へのご協力

三條市役所、または三條市内に物件を所有する方を対象に実施しています。

アンケート調査へのご協力

三條市役所、または三條市内に物件を所有する方を対象に実施しています。

アンケート調査へのご協力

三條市役所、または三條市内に物件を所有する方を対象に実施しています。

アンケート調査へのご協力

三條市役所、または三條市内に物件を所有する方を対象に実施しています。

アンケート調査へのご協力

三條市役所、または三條市内に物件を所有する方を対象に実施しています。

アンケート調査へのご協力

三條市役所、または三條市内に物件を所有する方を対象に実施しています。

アンケート調査へのご協力

三條市役所、または三條市内に物件を所有する方を対象に実施しています。

アンケート調査へのご協力

三條市役所、または三條市内に物件を所有する方を対象に実施しています。



目的

空き家情報を市のデータベースに集約すると共に、不動産会社、市の2つの情報網にてマッチングの機会を創出する。

概要

(公財)新潟県宅地建物取引業協会に空き家バンクに登録する物件情報の提供を委託する。

成果

協会事務局から会員会社へ空き家情報登録の呼び掛けを行った。成果25件(予定)。

検証

空き家の取扱いに伴うコスト面での負担を軽減したことで、情報吸い上げを促進させた。作業内容を鑑み、引き続きコスト、スキームを再検討する。

目的

空き家所有者に対して相談先の周知を市内全域に行い、より目につき、相談を促すツールを用いた啓発を行う。

概要

相談窓口の周知と空き家の顕在化を図るため、市内全域のポスター掲載、チラシ配布と共に、気軽に相談を促す、相談ボックスの設置を行った。

成果

チラシ兼アンケート 24,725枚・パンフレット1,000部
セミナーチラシ1,200枚(4回計)・相談ボックス5個。

検証

ボックス、チラシを見た人から2週間ほどで10件前後の相談の電話が増えたが、相談を書いて投函する人は少なかった。

※パンフレットは校正中

取組 セミナー・相談会の実施、空き家情報の掲載方法のリニューアル

③空き家セミナー・相談会の実施



目的

空き家に関する所有者への啓発、利活用希望者に対して物件の案内やマッチング機会を創出する。

概要

空き家セミナー・相談会を当市で初開催。
連携協定を結ぶ専門家を講師・相談員に招聘。

成果

参加者数約300人、相談者数約30人(累計)

検証

想定以上に市民の関心は高く、継続が必要



効果 福祉分野や学校など分野を越えた空き家啓発の引き合いが増加した。

④空き家情報の掲載方法のリニューアル



目的

空き家情報の発信方法を見直すことで、利活用希望者、移住定住検討者へのアプローチ及び流通促進につなげる。

概要

空き家バンクWEBサイト改修。効果的な動画の発信及び動画作成について研修を行った。

成果

新規動画10本(累計再生数2,500回以上)
動画研修2回

空き家バンクWEBリニューアル

検証

動画の反響が徐々に出てきており、リニューアル後の利便性の向上と併せ空き家バンクへの誘導が期待される。

⑤空き家見学会・啓発イベントの実施

目的
空き家の利活用希望者、新規出店者のテスト出店機会の創出と共に、学生から年配者まで多世代の交流する場を生み出す。

概要
空き家イベントとして、1日限りの空き家開放イベント「SANJO AKIYA ASOBI」、空き家を商店街、学生と一緒にDIYで変えていく「空き家DIY」の開催

成果
全6回開催 参加者数累計8,140人
※2月、3月に1回ずつ実施(見込1,000人)

検証
空き家への関心の醸成、利活用希望者の育成、創出に繋がっている。

⑥空き家対策非営利団体の検討

令和4年10月に設立 (一般社団法人) 燕三条空き家活用PJ

代表

マーケティング
ブランディング

設計
デザイン

民間の立場
で団体運営
に参画

熊谷 浩太

企画サポート

齊藤 巧
リノベーション・
建築会社代表

武田 修美
ソーシャルデザ
イン会社代表

佐藤 芳和

民間の立場
で団体運営
に参画

経理・事務①
渡辺

経理・事務②
今井

空き家対策員
(地域おこし協力隊①)

空き家対策員
(地域おこし協力隊②)

空き家対策員
(地域おこし協力隊③)

【R5.2月オープン予定】
神明町地内の旧商業ビル兼住宅をリノベして空き家再生を行う。

Me.
TSUBAMESANDO VACANT HOME PROJECT INC.
Supported by
SPACE DESIGN TAKAMI
HONEY
BUT ONE
AND SAKU ARCHITECTS
TSUBAMESANDO TEAM

目的
空き家対策事業の官民連携モデルとして、自立かつ継続した取組を実施する基盤(体制)を構築する。

概要
市内の民間団体から、空き家対策に知見のある人材が集まり、官民連携型空き家利活用団体の設立につながった。

成果
約16年間空き家だった物件の利活用プロジェクトを進行させ、2/12にグランドオープン。今後は、空き家相談、移住定住、複合交流拠点として運営。

検証
民間団体の人的リソースと共に、専門技術を活用し、スピード感かつ柔軟な動きが可能となっている。